

有事の際などにおけるまちの危機管理体制 及び町民、高齢者等への情報伝達について

町長 情報周知を図って行く

門田

有事の際など
におけるまち

の危機管理体制及び町民、
高齢者等への情報伝達に
ついて町長に伺う。

- ① 8月29日午前5時58分、北朝鮮からのミサイル発射を受け、何人の職員が何分後に役場本庁舎に登庁し具体的にどのような対応を図ったのか。
- ② Jアラートにより発信されたミサイル情報が、防災行政無線において、きちんと町民に伝達されたのか。
- ③ 外国人に対してはどのような周知を図ったのか。



防災行政無線

- ④ 防災行政無線の戸別受信機の取り扱いについて。
- ⑤ 在宅高齢者緊急通報システム事業を実施しているが、運用状況と今後の課題について。

イルに関する情報収集、本町における被害状況の確認等を行い、町長、副町長等に対する報告などを行ったところ。副町長等

ができず外国人に対しても日本語による周知が図られたところ。副町長等

- ④ 高齢者や難聴者に対する情報伝達の対策強化として、各町内会・自治振興会を通じて、戸別受信機の追加貸与申請の取まとめをしている。
- ⑤ 60名前後で推移している。運用状況の課題としては、利用者拡大に向けた対応要請及びそれに伴う予算確保が必要になる。

門田

町独自として、この地域性、外国人も多いので、わかりやすい伝達、英語も含めて検討する余地はあるのではないかと。

町長

① 6時12分に担当職員等2名、25分には担当職員等3名が登庁し、合計5名で羊蹄山ろく消防組合と連携を図りながら、ミサ

② 屋外に設置している拡声スピーカー24基並びに防災行政無線戸別受信機約2000台から適切に放送されたところ。副町長等

③ 国のシステムであることから当町において英語等の放送を付加すること

町長

わかりやすく情報周知を図っていきたい。

統合保育所について

門田

① 保育士などの確保について。

- ② 入所時の受け入れ計画、体制は。
- ③ 私立3幼稚園の建て替えや増築により、受け入れ人数に変更があるのか。
- ④ 南児童館の今後の利用形態は。

軽に立ち寄れ、また保護者も集える児童館として利用していく。

町長

① 正規の保育士、非常勤、臨時の保育士を含め、人員に不足が生じないよう取り進める。

- ② ゼロ歳児が24名、1歳児が48名、2歳児が54名の合計126名を受け入れる計画としている。
- ③ 俱知安幼稚園は、10名増員の210名の定員、藤幼稚園は、40名増の160名の定員、めぐみ幼稚園は、20名増の90名の定員です。
- ④ 子育て支援センター移設後も、子どもたちが気軽に立ち寄れ、また保護者も集える児童館として利用していく。



4月開所に向けて建設中の統合保育所（南3東5）

この他に「地域包括支援センターについて」の質問を頂きました。

一般質問 門田 淳



門田 淳 議員